

調布・多摩川オリジナル図鑑

ができました!



環境モニターグループでは 04 年度 05 年度と主に多摩川の植物を中心に観察、記録をしてきました。06 年度はその総まとめとして、今まで撮り溜めた写真を整理し、その中から調布の多摩川を代表するような植物 60 種をピックアップ、オリジナル図鑑を作成しました。

200 種以上も記録してきたものの中から、どの植物を取り上げるか決めることに迷いもありましたし、また少ない字数でわかりやすい解説文を書くのも大変な作業でした。

A3 版用紙二つ折り、という簡単なものですが、多摩川の植物に興味のある方や子ども達に、ぜひ役立てて欲しいと思います。

佐須用水に生育するミクリ 昨年より増えたようだ



4/8 佐須用水に沿って柏野小周辺の田んぼへ向かう環境モニターのメンバー

今年度の環境モニターは、市民の方に調布の自然環境をご案内する年 2 回の「調布そぞろ歩き」と、市内水辺の植物観察を年 8 回行います。

4 月 8 日(日)には新メンバーも参加し、佐須用水周辺と田んぼの植物を観察して歩きました。田んぼの数は本当になくなってしまいましたが、コオニタビラコやレンゲの咲いている風景はとても気持ちの良いものでした。(報告: 鍛冶)

調布の自然 植物編 ナガミヒナゲシ

「よく見かけるけど、このオレンジ色の花なんていう名前?」この季節になるとよく尋ねられる植物があります。ナガミヒナゲシ。ケシ科の一年草です。道端や空き地などに多くみられます。「雑草なの?」これもよくきかれます。生えてきては困るところに勝手に生えてくる草が雑草なら、りっぱな雑草です。ヨーロッパ原産の帰化植物で、5~6 年ほど前は野川の道沿いなどに大群生をつくっていましたが、最近は少し減ってきているようです。以前は切れ込みのある葉の形が変わっていたため草取りの時に残されていたのが、今は見慣れてきて抜かれてしまうのかもしれない。花が終わった後に細長い実がつきますが、これが茶色く熟すと実の上部の横に小さな穴が開いて、風などで揺れる時にそこから細かい黒い種子がこぼれ落ちます。子供達はこの熟した実をみつけると採ってきて、ままごとの「こしょう」の代わりにします。大人の方も茶色くなった実をみつけましたら、ぜひ手のひらの上で振ってみてください。びっくりするほどたくさんの種子が入っていますから。(Y.I.)



ナガミヒナゲシ
少し色褪せた感じのオレンジ色。雑草というには目立つ花です。

調布の古民家

去年の夏。近所でリフォームしているお宅で解体作業をしている業者さんと、お話をしました。農地の分譲、宅地化が進む中で、安価な外国産の木材が使われることは、折につけ心にとどめていたことです。



話では、古材（一般に10年以上たった木材のこと）はリサイクルできず、わざわざお金を出して廃材の回収業者に引き取ってもらっているそうです。中には立派な梁や柱があり、焼却、廃棄処分するにはあまりにも、もったいないと思うものがたくさんあります。以前、ニュースで見たのですが、古民家については、全国の業者とネットを組んで、再利用または移築するために、情報交換や調査活動を始めた建築業社の話が取り上げられていました。（話はそれますが、そうした民家からアンティークとして値打ちのある家財道具などが出てくることもあるそうです）文化財的な意味や環境保全の観点から、調布の古民家も古くなったから取り壊し、お金を出して処分したりするのはあまりにももったいないと思います。

私たちの活動で、かに山のキャンプ場で薪として使う材木も、使えなくなった端材などを集めて利用していました。ただし、建材に有害な塗料や薬品が使われているかは心配ですが、公園内の倒木を伐採して燃やすと、その木の中に暮らしているいろいろな生き物や微生物たちも死んでしまうことや、十分な量を確保しなければならいことから、今は建築廃材に頼っています。今後、材を調達するにあたっては、雑木林保全のため伐採したアオキや棕櫚を、薪などに積極的に利用していきたいと思います。

また、調布の農家などには古民家や土蔵も、多く残されています。こうした家屋が失われていく前に地域の風土に根ざした農の営みなどの文化とともに記録し、残していくことも考えてみたいと思います。（近藤）



4月20日の野草園裏のイヌザクラ

ちょうふあちこち

調布そぞろ歩き」に参加しませんか



2時間半程度の行程で、神代農場内の自然観察や、周辺の古木、旧家を訪ね歩く予定です。案内役は1面で紹介した調布市環境モニターと講師の先生です。要申込み（環境政策課 481-7086）

【日時】5月26日(土) 9:30

【集合】都立農業高校神代農場入口（青渭神社バス停前）集合

【定員】申込順 20人 荒天中止
飲み物、帽子等をご用意ください。

環境モニター

4/8(日) 9:30~12:00

佐須用水周辺の植物調べ

参加者 16名とスタッフ 3名

1面に活動内容を掲載。

最後に野草園横でカタクリ・ワダソウを観察、湧水の流れている日当たりの良い広場ではムラサキサギゴケが絨毯のように広がっていた。(K)

カニ山の会

4/14(土) 10:00~12:00

東樹林植物調べ 参加者 8名

気づいた植物全て記入。05年度に記録された同じ場所のシュランを探したが全部は確認できなかった。その他ムラサキケマン・クロモジ・クサボケ・ヤマブキなどが可憐な花を咲かせていた。ユ

リ科らしき単葉を数ヶ所で発見。何になるか楽しみ。方形枠内の実生木は葉を広げ始め、枠内が一杯になってきた。しばらくは様子を見ることとし、将来は移植や間引きも検討することにした。(K)



新緑の方形枠内

人間・樹林の会

4/15(日) 9:30~12:45

前日に続き暖かい陽気もあり、今年度は季節が早まっているからどのような花々が咲いているのか楽しみに樹林地に入ったら何と大きな杉の木が2本倒れていました。今

回の主なスケジュールは「方形枠調査」と、「落ち葉かき」となりましたが急遽倒木の整理をやりました。先日の大風によるものと推察されますが、隣家に被害が無かったのが何よりも幸いでした。

笹刈りをした後にキツネノカミソリとウラシマソウが沢山顔を出していたの



で近い将来群落が見られるかなと...。作業終了後に全員で外から見た樹林地の風景は新緑がやさしく目に映り、また騒音も少なく心安らぐ環境だとの感想で、この空間を保全することに参加意義を感じたようでした。(S)

石ころむ

火打ち石 (チャート)

鉄より硬い石

多摩川には砂岩とならんで普通にみられる礫(石ころ)です。海水中のSiO₂が堆積して固まった石といわれます。臙脂色が代表のようでよく目立ちますが灰色、黒色、玉虫色などさまざまな顔を見せています。似た石灰岩と白いチャートは硬さで見分けることができます。釘でこすって釘が負けて石の表面に金属の条痕がつけばチャート。白く削った跡がつけば石灰岩です。石灰岩は粉を吹いたようにも見えます。このチャートがマッチ以前から(今でも)火打ち石として使われています。

ここでクイズ。どのように使って火を起こすのでしょうか。

A1.チャートとチャートをうちあてる。

A2.チャートと軟らかい石をうちあてる

A3.チャートと金属をうちあてる。

85%の人が1と思っているというデータがありますが、正解は3です。鉄より固い石で鉄を欠いて火花が出るという仕組みです。火花は火口(ほくち)で採ります。実際に起こすのは熟練がいります。火花だけならすぐ、誰でもできるようになります。



江戸時代から伝わる
火打ち鎌と多摩川の
チャート

布田小学校の寺木秀一校長先生の連載コラムです。

環境政策課の窓

はじめまして。4月から環境政策課という新しい職場でスタートを切らせていただくことになりました小松昭博と申します。今までは国保年金課という最前線の職場で毎日市民の皆さんの様々なご意見をお聞きしながら仕事をして参りました。日々体温を感じながらの仕事であったと思います。これからは環境政策という調布市の未来を見据えた事業に取り組んでいくこととなります。一つ一つの環境に対する配慮は効果の見えづらい、ある意味では未来への投資といえるかもしれません。しかし、環境は少しずつ確実に変化してきています。私たちの活動は小さなものかも知れませんが、その小さな日々の活動が環境を作っているのだという自覚を持って、私も Think globally Act locally を合言葉に取り組んで行きたいと思えます。(環境政策課・小松 昭博)



いつの頃からだろう？
野川の春が、菜の花で一杯になる
ようになったのは・・・

田んぼの学校

4/22 入学式から3週間。種物を蒔いたぞ!

4月1日の入学式の後に苗床をつくってから3週間たちました。予定より1週間遅れですが22日は種物を蒔きました。

主な作業は苗床の土をふるって細かくし、種物をまく準備。そして苗床に水を回すための水路つくりと、田んぼの畦の補強です。

男の子たちの興味は、水路に水をひく作業で溝を掘り、だんだんと水が流れてくるところをせき止めたりして遊んでいました。女の子たちは大人といっしょに苗床の準備。土をふるいにかけて、表面をならし、みんな

で種物を蒔きました。

最後に苗床にネットを張り、水を回して作業完了。男の子の一堀で水が引き入れられると、みるみる苗床は水で潤っていきました。後ひと月ほど後に田植えが待っています。それまで元気に苗が育ちますように。

(田んぼの学校 こんどう)

苗床の準備



十分に水が
廻った苗床

ちょうふ環境市民懇談会 ・運営会議 4/9(月)

【報告事項:市民/行政】

- 1.環境部新体制 仁藤課長挨拶。
- 2.ヘビ山について・郷土博物館の所管で市民グループによる保全活動は歓迎することのこと。
- 3.環境モニターが作成した植物図鑑(A3版)を500部印刷した。有効に利用してほしい。
- 4.4/28 国分寺崖線観察会。

【協議事項】

- 1.環境フェア「あなたから始まる、地球の未来」の参加内容。
- 2.懇談会のあり方検討プロジェクトを3/23に開いた。勉強会を企画し引き続き検討していく。
- 3.「活動記録詳細版」もほぼ同じメンバーで作成していく。
- 4.07年度は委員が担当を分担して進めていくことを確認した。

環境市民 活動カレンダー & おしらせ

全ての会でメンバー随時募集中!

環境モニター

5/13(日) 9:30~12:00

集合場所: 二枚橋バス停

内容: 野川周辺の植物調べ

持ち物: 図鑑・筆記用具等

市内の自然環境調べや「調布そぞろ歩き」のガイドを行っているグループです。

問合せ: 環境政策課 042-481-7086

カニ山の会

5/12(土) 10:00~12:00

集合場所: 深大寺自然広場、野草園横

内容: 森の縁の整備(通路際部) ウワミズザクラ等の手当、清掃他

原則毎月第2土曜にかに山東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。

会費500円+保険料500円(年間)

問合せ: 環境政策課 042-481-7086

若葉町3丁目第3緑地-保全活動

5/13(日) 10:00~12:00

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 保全活動

原則毎月第2日曜に活動しています。

問合せ: 緑と公園課 042-481-7083

入間・樹林の会

5/20(日) 9:30~12:00

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 保全作業

原則毎月第3日曜に活動しています。

問合せ: 環境政策課 042-481-7086

野川流域連絡会-水環境分科会

5/25(金) 18:00~20:00

場所: 文化会館たづくり 1002 学習室

内容: 勉強会(下水のはなし)

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

5/14(月) 18:30~20:30

場所: 文化会館たづくり 304 会議室

内容: ・環境フェアの最終打ち合わせ

・今後の市の環境活動・市民と行政の協働に関して勉強会と懇談

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

多摩川クリーン作戦

5月20日(日) 8:00 ~ 9:00

多摩川左岸河川敷周辺の美化活動を行います。

ご協力いただける方は多摩川河川敷へ

直接お越しください。

お問合せは 環境政策課へ



植物の名前なぜなぜ?

ツツジ(躑躅)

中国ではシナレンゲツツジを「羊躑躅」と表します。「躑」の字義は「たたずむ」、「行きなやむ」であり、「躅」は羊の足を現すとされています。レンゲツツジの葉には毒があるため、羊がツツジを食べてたたずむ様子を表したと考えられます。

他には、つぎつぎ連続して咲く「つづき咲き」や、花が筒状になっているため「筒咲き」が転訛したという説もあります。

ついでにもう一つ、ドウダンツツジのドウダンは漢字で「満天星」と書きます。あの小さな白い花が株一杯に咲いている様子を表しているのだと思います。これは、私のお気に入りの漢字です。(K.K)



編集後記

4/22(日)深夜、市議選の結果が出た。案の定トップ当選は元キャスターの方。何か新しい風を期待した方が多かったのでしょうか。何はともあれ議員の皆さんが調布の自然環境に大いに興味を持ってくださることを期待します。(Nao)

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先: 調布市環境政策課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

~ 調布市ホームページでカラー版がごらんいただけます ~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより